



2025 年 4 月のタイの輸出は 前年同月比 10.2%の成長を継続するが 下半期にはリスクが高まる見込み



Palitchaya Ritsuk
Researcher
palitchaya.r@kasikornresearch.com

○ 2025 年 4 月のタイの輸出は、前年同月比 10.2%増を記録したが、2025 年第 1 四半期の 15.2%増に比べ鈍化する結果となった。これには以下の要因が考えられる（図 1）。

- 米国貿易政策を巡る不透明感が続く中、タイの輸出は出荷の加速が引き続き下支えとなった。ほぼ全ての仕向国に対して輸出は拡大し、特に米国向けは顕著であった。2025 年初頭からのタイの輸出に占める米国向けの割合は 19.5%と、前年の 18.3%から上昇している。
- タイの輸出は以下の主要製品に支えられている：
 - ① コンピュータおよびその部品（ハードディスクドライブ（HDD）を含む）
 - ② 集積回路（IC）
 - ③ 粗金

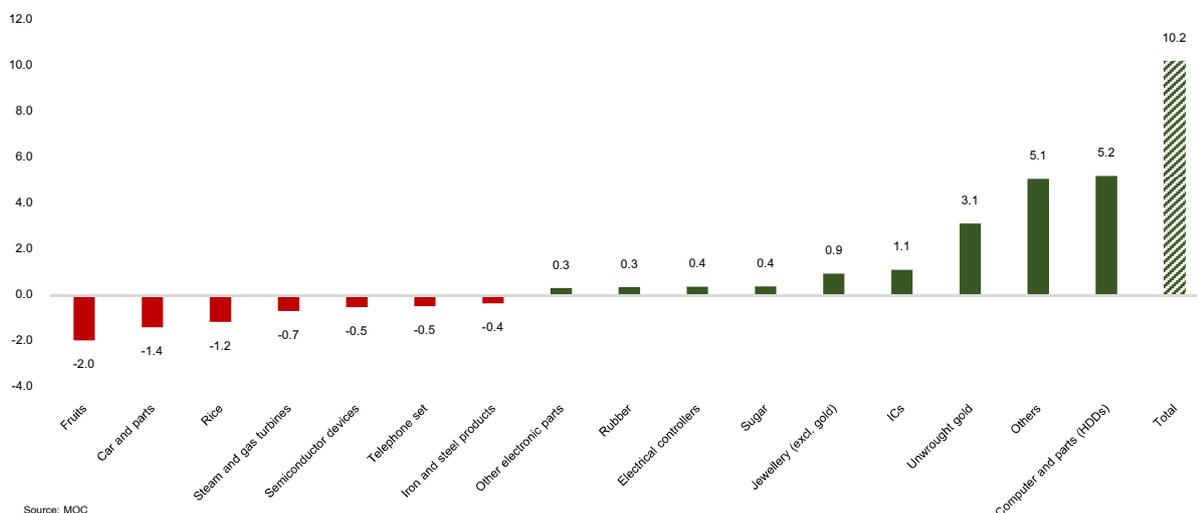
これらの 3 製品を除くと、4 月のタイの輸出増加は 1%未満に留まった。電子機器の輸出は、業界サイクルの変動の影響を受け、既にピークに達した可能性があり、今後数ヶ月間で減速する可能性がある。

● 一方で農業輸出は前年同期比 19.6%減少となった。

これは主に果物輸出の減少が要因で、特に通常は 4 月の輸出を牽引する新鮮なドリアンが、供給過剰による価格圧力と、中国が導入したドリアン輸入における安全基準の厳格化が要因となり、2025 年 4 月は前年同期比 43.5%の減少を記録した。

図 1：タイの輸出は限定的な主要製品に依存

2025年4月の輸出成長への寄与度（%）

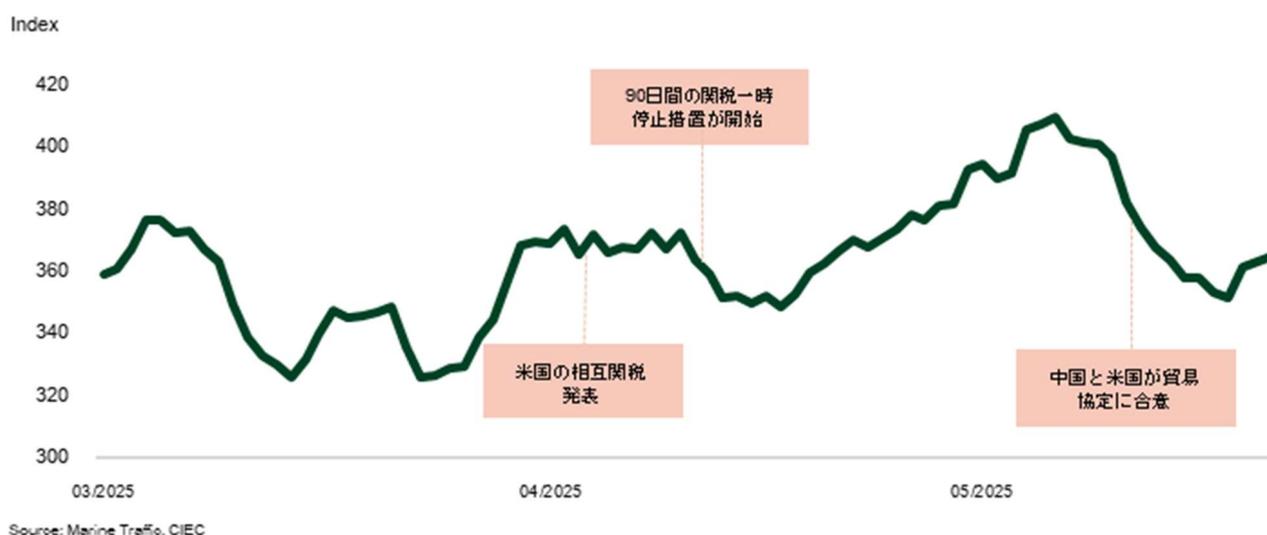


Source: MOC

- 米国が関税引き上げを90日間凍結したにもかかわらず、5月から6月にかけてのタイの輸出成長ペースは鈍化すると見込まれる。その結果、タイの2025年第2四半期の輸出拡大は10%未満に留まり、2025年第1四半期に比べ、その成長率は低下する見込みである。
- 過去4ヶ月間において既に大量の出荷が前倒しで行われたため、米国の関税引き上げにおける90日間の猶予措置が、タイの輸出に与える影響は、限定的になる可能性がある。一方、4月からタイ製品が米国基準関税10%の対象となっていることや、タイと米国の貿易交渉における継続的な不確実性によって、タイの港からの船舶の出発数は、5月にピークに達した後に減少している（図2）。しかし、2025年5月初旬の米中貿易合意により、90日間の関税引き下げ期間が終了する前に、タイから中国への中間財輸出が加速する可能性がある。

図2：タイの港を出港する船舶数は、2025年5月初旬をピークに減少傾向

タイの港湾寄港：出港（7日移動平均）



- 輸出業者にとっては、2025年7月9日の相互関税再開までに商品出荷可能な期間が1ヶ月を切る可能性がある。ただし、90日間の猶予期間終了後に適用される関税率についての明確な情報が得られない場合、輸出業者の中には2025年6月の出荷を遅らせる可能性もある。
- 米国がタイに対して競合国よりも高い関税を課す場合、2025年下半年期のタイの輸出は急激に縮小する可能性がある。現在、タイは米国通商代表部（USTR）との貿易交渉において進展を見出せていない一方、ベトナム、マレーシア、インドネシアなどの地域諸国は既に交渉を開始している。カシコンリサーチセンターは、この状況を踏まえ、タイの2025年通年輸出成長率予測を▲0.5%に維持している。

カシコンリサーチセンター

免責事項：本レポートは、カシコンリサーチセンターによって、KASIKORNBANK PCL（カシコン銀行）、および/または KASIKORNBANK PCL 傘下のグループ企業のお客さま向けに情報と分析を提供する目的で作成されています。本レポートは、配布日時点において信頼できるとみなされる情報源から取得した公開情報を基に作成されておりますが、事前の通知なしにいつでも変更される可能性があり、また、その正確性、信頼性、適切性、完全性、最新性について保証するものではありません。本レポートの内容は、いかなる状況下においても、説得、推奨、助言、または意思決定の動機付けを含むものと解釈されるものではありません。本レポートの参照にあたっては、関連情報を慎重に検討し、自らの判断に基づいて意思決定を行う必要があります。カシコンリサーチセンターは、当該情報の利用により生じた損害について一切の責任を負いません。

本レポートに含まれる情報は、カシコンリサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の所有物です。当該情報の全部または一部の利用には、カシコンリサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の所有権を示す内容を含めるか、その出典を明記する必要があります。カシコンリサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の事前の書面による承認なしに、情報を複製、変更、改変、修正、転送、または公開する行為、または商業目的での利用を行うことは固く禁止されています。